

【淡路夢舞台国際会議場】のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 2者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

応募しやすい要件について
①規模が大きくなるほど全体で収支を検討できるため、会議場単独ではなく公苑の部分も含めた全体で公募してほしい。
②過去からの設立経緯やホテルとの一体的な利用を考えると会議場だけ切り離すのはコストメリットがない。
③長期での事業組み立てや、PFI方式の導入など、夢舞台を一体的に活用できる方がよい。
④施設群の潜在能力は高いと思うので、施設全体の貸し付けにより、全体構想が描ける形にしてほしい。
指定管理業務について
①会議場単体の場合…当社はメンテナンスや建築を主事業としているため、運営会社との共同運営を予定。
②施設群一体での公募の場合…グループ会社や、公園管理等を主事業とする事業者との共同運営を予定。
指定管理期間について
①5年は短い。
②大きい会議は1～2年前からスケジュールが決まっているので、誘致効果がでるまで最低2年はかかる。
③仮に夢舞台の施設群一体的な運用を行う場合、パークマネジメントなど大規模な枠組みで10年、20年とか長期で投資を行うのがよい
その他
①窓口対応等のスタッフは継続雇用を検討するが、意思決定部門は自社で対応する。
②利用率も収益も伸ばせる余地がある。

【担当者】

兵庫県産業労働部国際課地域国際化班
氏名 上本（内線 2099）
TEL: 078-341-7711（代表）
メール: kokusaika@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県企業庁総務課経営戦略班
氏名 松下（内線 5487）
TEL: 078-341-7711（代表）
メール: kigyosoumu@pref.hyogo.lg.jp